

宇城管内 学力向上ワーキング・グループ 実践事例集



どう学ばせ



何が身に付いたのか



どのように
デザインし

宇城市町教育委員会連絡協議会
宇城教育事務所

私たちが考える

「見方・考え方」を広げ深める 単元・授業デザイン

子供たちからこのようにつぶやきが出るようなデザインを目指したい！

この単元で勉強することはこれなんだ！いろいろ挑戦してみたいな



学ぶ意味を問う、
学ぶ目的を持たせる
問い（学習課題）

つまり、こういうことなのか！なるほど！ということ・・・



知識・技能をつなぐ問い
（学習課題）

児童生徒の学習状況を見取りながら、適宜、振り返りの時間を設定し、その後の指導と評価に生かしましょう。



学習評価
（定着確認）

おもしろい課題だな！今まで勉強したことが何か使えないかな... さらに、こういうことも分かってきたぞ！



見方・考え方を
発揮させる問い
（学習課題）

この単元で勉強したことは、つまりこういうことだったんだ！



学んだ意義を問う、
単元の最後に聞きたい問い

ゴールの姿を、何をもって、どのように評価するのかを明らかにしておきましょう。論述やレポート、発表、作品等であれば、事前にルーブリックを作成しておくといいですね。



単元のゴールの姿

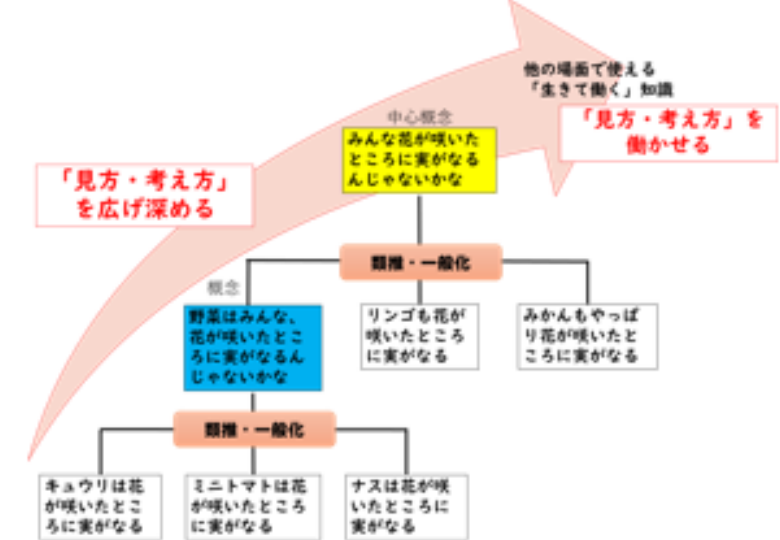
学習評価
（総括的評価）

単元の導入に当たって、単元のゴールの姿をイメージし、単元全体を見通した指導のビジョンをもつと同時に、何をもって、どのように評価するか具体的な評価のビジョンをもっておきたい。

単元の導入では、単元のゴールに向けて、学習内容に興味をもたせたり、目的をもたせたりする学習課題を大切にしたい。また、この単元で、どのような力（資質・能力）を身に付けてほしいのか子供と共有することも大切にしたい。



単元のまとまりの中で、頭の中でバラバラになっている知識・技能のつながりに気付かせる学習課題や発問を、教師が意図的に取り入れたい。子供たちが獲得した知識・技能を整理させ、概念化させることによって、「見方・考え方」が広がったり深まったりし、物事の本質（原理・方法）が見えてくるようになります。物事の本質が見えてくると、他の場面でも応用できる「生きて働く知識・技能」になってくるのではないのでしょうか。



参考:「みんなの教育技術」 現行学習指導要領の「三つの資質・能力」とは？①
【田村学流 単元づくり・授業づくり#8】 <https://kyoiku.sho.jp/158225/>



単元の終末では、他の場面で発揮できる「生きて働く知識・技能」になっているかを試す学習課題（パフォーマンス課題）にチャレンジさせたい。「前の問題はできたけど、この問題ではできない」ということがあれば、本質（原理・方法）が理解できていないことが考えられるのではないのでしょうか。



単元終了後に、教師がどのようなことを聞き、それに対して子供にどのような答えを返してほしいのかを具体的にイメージすることを意識したい。



【逆向き設計】

国語

- 小学 4年「ごんぎつね」
(宇土小 井上教諭)
- 小学 6年「海のいのち」
(励徳小 久保教諭)
- 中学 1年「大人になれなかった弟たちに……」
(鶴城中 前川教諭)

小学4年国語「ごんぎつね」 単元・授業デザイン

宇土小学校 井上 万里

【主な学習内容・学習活動】

本単元で身につけるべき力を知り、学習課題を作る。

物語の設定と大まかな内容をつかむ。

学習課題解決のために、解決したい「わたしの問い」をそれぞれ出し合う。

出し合った問いを整理し、全員で共有すべき「みんなの問い」を確認する。

「みんなの問い」を、学習課題の解決につながる「大きな問い」とそれを解決するための「小さな問い」に分類し、解決の順番を考える。
～「学習カレンダー」づくり～

「小さな問い」の解決を通して、中心人物の気持ちの変化を読み取る。
～ごんのなぞときツアー～

見方・考え方を発揮させて「大きな問い」を解決する。
～なぞときツアー、ファイナル～

「ごんぎつね」を読んだ感想を、自分の言葉でまとめる。(評価)
～「ブックレビュー」づくり～

「ブックレビュー」を交換して読み合い、感想を交流する。
～「ブックレビュー」交換会～
(学びの振り返り)

単元末テスト(評価)

単元のゴールの姿

- ◆人物どうしの関わりに着目して、中心人物の変容に気づくことができる児童
- ◆中心人物とほかの人物との関わりについて考え、感想を持つことができる児童

学ぶ意味を問う、学ぶ目的を持たせる学習課題

人物どうしの関わりに気をつけてごんぎつねを読み、考えたことを「ブックレビュー」にまとめて、友達と伝え合おう！

知識・技能をつなぐ問い

【小さな問い】

- ◆ごんの行動に関する問い
- ◆ごんの言葉に関する問い
- ◆兵十の行動に関する問い
- ◆兵十の言葉に関する問い
- ◆情景に関する問い

定着確認

ごんと兵十の「心のきよさ」で、毎時間の「心のきよさ」の変化をたしかめる。

見方・考え方を発揮させる問い

ごんと兵十の心のきよさは、今どのくらい近づいたのだろうか？

学んだ意義を問う、単元の最後に聞きたい問い

【大きな問い】

「ごんぎつね」は、ごんにとって悲しい物語か？それとも幸せな物語か？

【目標】

最後の場面でうなづくごんの気持ちを、これまでのごんの行動や言葉、兵十の言動と関連付けながら想像することができる。

過程	教師のコーディネート・子供の姿	
導入	1 前時をふりかえり、本時の課題をつかむ	課題解決の手立てとして、これまでの学習のあしあとを「いつでも振り返る」ことができる電子黒板の活用
	6の場面のごんと兵十の心のきよりについて考えよう 【教師のコーディネート】 つくないを続けるごんの、兵十に対する一途な気持ちを、児童の振り返りとこれまでの「心のきより」から振り返らせ、本時につなげていく。	
展開	2 本時の課題の解決に向け、自分の考えを持つための問いを選ぶ	【今日の問い】 ①ごんは兵十に見つかったことを、後悔していないのか？ ②ぐったりと目をつぶったままうなずいたごんは、最後に何と言いたかったのだろうか？ ③兵十のごんへの呼び方が「ぬすとぎつね」から「ごん」と変わっているのはなぜだろう？ ④なぜ兵十は火縄銃をばたりと「落とす」ではなく「取り落とし」てしまったのだろうか？ 【教師のコーディネート】 気持ちを考える上で会話と行動、情景が手がかりとなることに気づかせる。
	3 自分に合った解決の方法を選ぶ	
終末	4 全体で交流する	【教師のコーディネート】 みんなに納得してもらえるように、「なぜなら～」や「〇ページ△行目の～という言葉から…」という言葉を使いながら話し合うよさを伝える。 ごんに対する呼び方が変わったことで、兵十の気持ちの変化が分かりました。 最初は悲しい物語と思ってたけど、〇〇さんの意見を聞いたら、ごんはようやくひとりぼっちじゃなくなって、幸せだったのかもかもしれないと思いました。
	5 6の場面でのごんと兵十の心のきよりをたしかめ、本時の学習での学びを自分の言葉でまとめ、振り返りする。	

課題解決の手立てとして、これまでの学習のあしあとを「いつでも振り返る」ことができる電子黒板の活用

小学6年国語「海のいのち」 単元・授業デザイン

励徳小 久保 綾

【主な学習内容・学習活動】

本単元で身につけるべき力を知り、学習課題を作り、学習計画「学習の山」を作る。

物語の設定と大まかな内容をつかむ。

学習課題解決のために、解決したい「大きな問い」を作る。

学習課題と「大きな問い」を解決するために小さな問いを出し合う。

人物関係図に中心人物と重要人物の関係と心情をまとめながら小さな問いを解決する。

見方・考え方を発揮させて「大きな問い」を解決する。(評価)

「海のいのち新聞」を作る。(評価)

「海のいのち新聞」を交換して読み合い、感想を交流する。(学びの振り返り)

適用問題 (評価)
単元末テスト (評価)

学ぶ意味を問う、学ぶ目的を持たせる学習課題

物語が自分に最も強く語りかけてきたことを伝えるために、表現や言葉の意味、山場での変化を考えながら読み、考えたことを「人」欄にまとめて「海のいのち新聞」を作ろう

知識・技能をつなぐ問い

【予想される小さな問い】

- 太一とおとう
 - ・おとうはどんな漁師
 - ・おとうとじいさの共通点は
 - ・おとうの海とはどういうことか
- 太一と与吉じいさ
 - ・なぜ、与吉じいさに弟子入りしたのか
 - ・与吉じいさはどんな漁師か
 - ・じいさの言う「村一番の漁師」と太一の考える「一人前の漁師」とは
 - ・おとうとじいさの共通点は
 - ・1000匹に1匹とは
- 太一について
 - ・太一がクエをうつことで守りたいのちはいくつあるか
 - ・太一の追い求めていた夢とは何
 - ・銀のあひくって何
 - ・なぜ、クエに「おとう」と声をかけたのか
 - ・クエとおとうの何が重なった

定着確認

登場人物の人物関係を
図に表す。

見方・考え方を発揮させる問い

【大きな問い】

なぜ、太一はクエをうたなかったのか

学んだ意義を問う、単元の最後に聞きたい問い




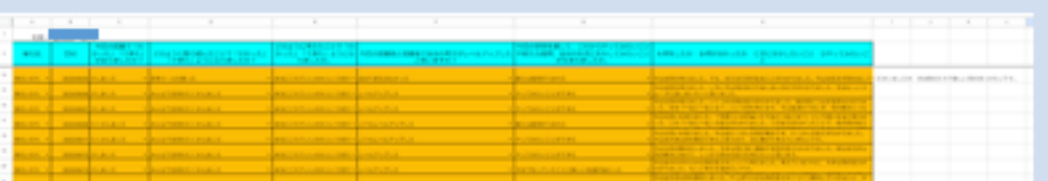
あなたは、誰の生き方に心打たれた？

単元のゴールの姿

◆物語を読むときに、表現の工夫などの言葉に着目して場面の様子や心情の変化を読み、作品から受け取ったものを言語化して伝えようとする児童

【目標】

今までに読み取ったことをもとにして話し合うことで、中心人物の大きな心情の変化の理由を考えることができる。

過程	教師のコーディネート・子供の姿	
導入	1 学習計画から、本時の課題を把握する。 今日の問い 「なぜ、太一はクエを打たなかったのだろう」 【教師のコーディネート】 児童の問いから生まれた学習課題を児童と共有し、学習計画の中に明示しておく	
	2 自分に合った解決の方法を選び、自分の考えをまとめる。 【教師のコーディネート】 タブレットに記入した小さな問いの答え、黒板にまとめた人物関係図、今までの学習をまとめたスライド等をもとに考えることができるようにする。	
展開	3 全体で話し合う。 【教師のコーディネート】 話し合いのめあてを「自分の考えを納得してもらおう」とし、目的をもって話し合いに臨めるようにする。	
	4 自分の最終的な考えを、ノートに書きこむ。 【教師のコーディネート】 児童が出し合った考えを板書で整理し、最終的な考えをまとめる際に活用できるようにする。	
終末	5 本時の学習で分かったことを自分の言葉でまとめ、ふりかえりをする。	

タブレット端末で本時の問いへの考えを
読み取り、導入として活用する

タブレット端末で今までの学びを確認しながら話し合う

タブレット端末でまとめ
振り返りを行う

中学1年国語「大人になれなかった弟たちに……」単元・授業デザイン

鶴城中 前川 恵

【主な学習内容・学習活動】

単元の学習課題の提示

- ・戦争について調べ、自分の考えを持つ。
- ・初発の感想を書き、印象に残るところ疑問などを出し合う。

場面ごとに内容を大まかにつかむ

- ・登場人物「僕」「母」の心情について考える【評価】
(全体の話の流れを見ないと深く捉えられないことに気づく)
(重ねられている言葉、情景描写にも着目する)
(「ヒロユキ」についての描かれ方にも着目する)

- ・既習の物語と比較して、この作品の中の表現の特徴を見つけ、そこに込められた作者の思いを考える【評価】

見方・考え方を発揮し、学習課題につなげる

単元を通した学習課題【評価】

- 単元テスト【評価】
- 定期テスト【評価】

単元のゴールの姿

- ・描写を基に言葉に着目し、場面の展開や登場人物の心情を考えながら読む姿
- ・読み取った登場人物や作者の思いを通して、自分の考えを伝えようとする生徒の姿

学ぶ意味を問う、学ぶ目的を持たせる問い

表現に隠された作者の思いを探り、家族に作品を紹介しよう

知識・技能をつなぐ問い

作者はなぜこの話を絵本にしたのだろう。

概念
知—知

- ・登場人物の心情を捉えるために、何に注目して読むとよいか

定着確認

(総括的評価：知識・技能)

見方・考え方を発揮させる問い


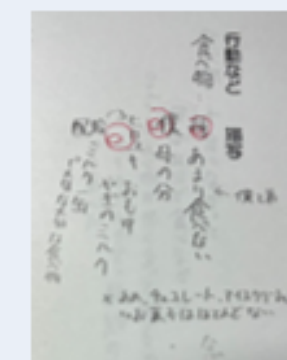
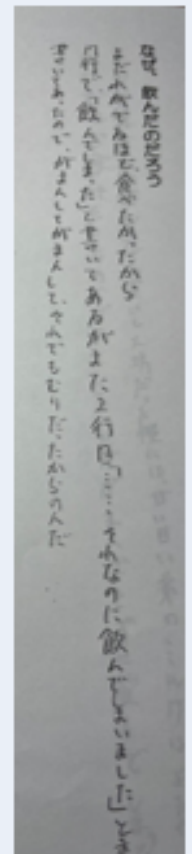
- 登場人物の言動や情景描写に着目し、心情を考えることを通して、自分の考えを伝えるために
- 【言葉に着目する】
- 人物の相互関係、心情を深く捉える
 - ・「僕」はなぜミルクを盗み飲みしたのだろうか？
 - ・母の涙の意味は？
 - ・ヒロユキの様子をどうとらえるか？
 - 表現・表記を捉える
 - ・注目したい表現は？
 - ・気になる表記は？
 - ・「僕はひもじかったことと、弟の死は一生忘れません」の最後の一文はなぜあるのだろうか？

学んだ意義を問う、単元の最後に聞きたい問い

作者はなぜこの話を絵本にしたのだろう。
作品に込められた思いを探ろう。

表現に隠された作者の思いを探り、
家族にこの作品を紹介しよう

【目標】本文に描かれた状況、言葉に着目して、ミルクを盗み飲みした「僕」の心情を考えることができる

過程	教師のコーディネート・子供の姿	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の時代背景を知る。(戦争について)戦争について調べたことを班で交流し合い、作品の時代背景を捉える。 ・初発の感想を出し合い、疑問点などを整理する。 	<p>戦争について調べたこと</p>
展開	<p>めあて 本文の表現をヒントに「僕」の心情を考えよう</p> <p>大まかな内容を捉え直す</p> <p>「僕」の心情を考える 【言葉に着目する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「……それなのに飲んでしまいました。」に隠されたもの ・「……」 ・「それなのに」 ・「しまいました」 <p>【人物の相互関係】</p> <p>本文冒頭部分 母の言葉 ヒロユキの状況</p> <p>班で話し合う</p> <p>全体交流をする</p> 	<p>本文の表現</p>  
	<p>まとめ 本文の言葉から「僕」の心情を考えることが大切だ</p>	
終末	<p>本時の学習での学びを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ飲んだのか理由を本文から見つけられた。 ・描写を根拠に「僕」の気持ちを考えられた。 ・この頃は本当に食べ物なくてやせ細ってしまって苦しかったことが分かった。 	

社会

- 小学 4年「地震からくらしを守る」
(松橋小 長松教諭)
- 小学 6年「明治の国づくりを進めた人々」
(砥用小 太田教諭)
- 中学 3年「現代の民主政治」
(鶴城中 園田教諭)

小学4年社会 「地震からくらしから守る」 単元デザイン

松橋小 長松 堅志

【主な学習内容・学習活動】

年表や写真から熊本大地震における宇城市の被害状況について知る。

学習問題に対する予想を考え、学習計画をつくる。

家庭で備えているものについて調べる。

学校や通学路で備えている物について調べる。

宇城市がどのような取組をしているのかについて調べる。

市と住民が連携していることについて調べる。

住民同士でどのような取り組みをしているかについて調べる。

学習問題に対する考えをまとめる。

章末問題（単元テスト）

見方・考え方を発揮させる学習課題

振り返りシートの作成
単元全体の学習を振り返り、地震に対する備えについて考えをまとめる。

学ぶ意味を問う、学ぶ目的を持たせる問い
熊本大地震で宇城市はどんな被害を受けたのだろう

宇城市では、地震からくらしを守るためにだれがどんなことをしているのだろう。

知識・技能をつなぐ問い

家ではどんなことをしているのだろう
(自助:災害リュック)

学校ではどんなことをしているのだろう
(共助:避難訓練)

宇城市ではどんなことをしているのだろう①
(公助:防災計画, 防災センターなど)

宇城市ではどんなことをしているのだろう②
(公助・共助:宇城市民との連携)

宇城市民はどんなことをしているのだろう
(共助:消防団, 自治会など)

宇城市では地震からくらしを守るためにだれがどんなことをしているのかまとめられるかな

定着確認(知識・技能を主に評価)

見方・考え方を発揮させる問い

学んできたことをもとに、地震が起きた時に自分にできることをまとめよう ※「マイタイムライン」「防災宣言」から1つ選んで作る

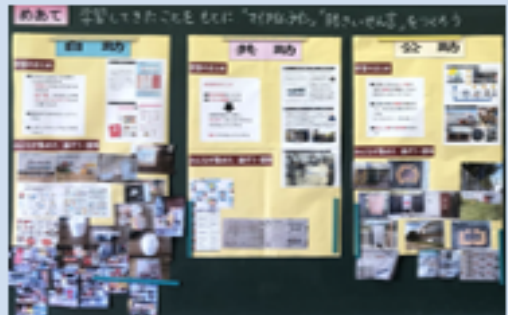
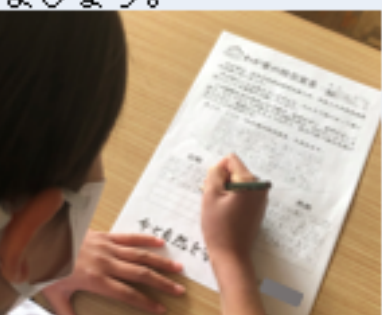
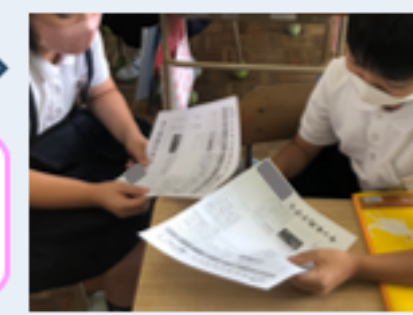

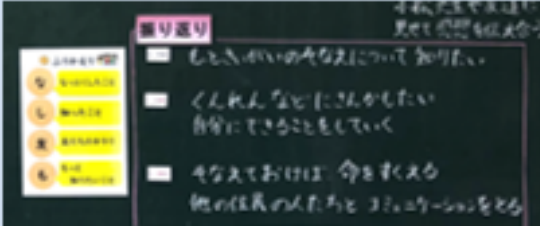
学んだ意義を問う、単元の最後に聞きたい問い
学習を振り返り、これから先、どんな備えをしていくとよいでしょうか

単元のゴールの姿

- ◆ 学習したことをもとに、大地震が宇城市で起こった時に、自分たちができることを考えたり、選択・判断したりして表現している。
- ◆ 学習したことをもとに、大地震が宇城市で起こることを想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちができることを考えようとしている。

【目標】

熊本大地震における宇城市の取組を踏まえて、地震に備えて自分にできることを「防災宣言」「マイタイムライン」にまとめることができる。

過程	教師のコーディネート・子供の姿	
導入	<p>宇城市は、地震からくらしを守るためにどんなことをしていましたか。</p> <p>くらしを守るためには自分の家ですること(自助)だけでいいですか。</p> <p>疑問のポイント 自助、共助、公助のいずれも必要であることに気付かせる。</p> <p>学習課題 学んだことをもとに、地震が起きた時に自分にできることをまとめよう。</p>	<p>既習内容の復習</p> 
展開	<p>自分にできることを「防災宣言」「マイタイムライン」にまとめましょう。</p>  <p>自分の考えをまとめた後に友達やGTと交流して修正する</p>  <p>おすすめの「防災宣言」「マイタイムライン」を見つけよう。</p> <p>友達の成果物を見て感想を交流する。自助、共助、公助の視点が含まれているかを考えさせる。</p>	
終末	<p>学習の振り返りをノートに書きましょう。</p>	

小学6年社会「明治の国づくりを進めた人々」 単元・授業デザイン

砥用小 太田 優美

【主な学習内容・学習活動】

・2枚の浮世絵（江戸時代と明治時代の高輪の様子）を比較し、「ひと」「もの」「こと」が変化していることに気付く。
 ・黒船来航とそれに対応する幕府の対応に着目し、学習問題を立てる。

江戸末期の社会の変化を捉える。
 ・開国による影響
 ・政治への不満と討幕の動き
 ・武士による政治の終了

明治時代の国づくり・改革・変化を調べる。
 ・諸改革・政策
 ・政治のしくみ
 ・人々の暮らしと考え方の変化

単元テスト

見方・考え方を発揮させる課題
 「君なら誰を新札の人物に選ぶ?」※調べ学習を1時間取った後、プレゼンテーションし、意見を交流し合う。

単元のレポート作成
 （思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度を主に評価）
 ※学習したことを振り返り、自分なりに考えを整理する。

単元のゴールの姿

- ◆当時の政策や人物の働きに着目し、諸改革や社会の変化などを総合したり関連付けたりして、当時の政治の仕組みや世の中の変化について多角的に考えている姿
- ◆絵画や年表、資料で調べ、自分の考えをまとめ、説明する姿

学ぶ目的を持たせる学習課題

誰がどのように世の中の仕組みを整え、明治の国づくりを進めていったのだろうか。

知識・技能をつなぐ問い（概念化）

ペリーが日本へやってきた!日本は開国すべきか、開国すべきではないのだろうか。
 ※ディベート

「明治の新リーダーへ私から一言!」
 新しい国づくりは、何に力を入れて取り組むべきなのだろうか。
 ※江戸時代の国づくりを振り返り、予想を立てる

明治政府はどのような政治を目指したのか。
 明治政府はどのような改革を行ったのか。
 明治維新によって、人々の暮らしや考え方はどのように変わったのだろうか。

定着確認

(知識・技能を主に評価)

見方・考え方を発揮させる学習課題


君なら、誰を新札の人物に選ぶ?!
 「明治の国づくりに尽力したのは誰だ?選んだ人物について意見を交流し、学習課題に対する自分の意見をまとめよう」
 ※調べ学習を1時間行った後に、プレゼンテーションし、意見を交流する。

学んだ意義を問う、単元の最後に聞きたい問い

明治時代の日本は、どんな人たちがどのように国づくりを進めたと言えるだろう。

【目標】

「自分なら新札に誰を選ぶか」について、明治の国づくりを進めた人々の働きや社会の変化に着目して意見を交流することを通して、明治の国づくりについて自分の考えをまとめることができる。

過程	教師のコーディネート・子供の姿	
導入	<p>前時からの学習課題を確認する。</p> <p>政治面  経済面 </p> <p> </p> <p>文化面 </p> <p>【学習課題】明治の国づくりは、どんな人たちがどのように進めたのだろうか? 【めあて】「自分が新札に選ぶ人物」について意見を交流し、学習課題について自分の考えをまとめよう。</p> <p>2024年7月に新札が発行される。児童が「新札の人物はどのように選ばれたのか」という問いをもってのことから、「自分なら誰を新札の人物に選ぶか」という学習課題を設定した。</p>	前時までの問いを提示
展開	<p>自分が新札に選ぶ人物について、前時までに自分で調べ、作成したスライドを用いてプレゼンテーションをする。</p> <p></p> <p>【選ぶ視点】を提示し、人物を選択させた。 ①明治の国づくりや人々の暮らしにおいて、大きな影響を与えたこと ②広く業績が認められていること ③「現代にもつながりがあること」</p> <p>Yチャートを用い、政治面、文化面、経済面など、それぞれの働きが明治時代の近代化や発展に影響していたことをつかませる。</p> <p>互いの発表を踏まえ、明治の国づくりの「キーワード」について話し合う。</p> <p></p>	児童がスライドで発表・意見交流
終末	<p>学習課題に対する答えを自分なりの言葉でまとめる。</p> <p></p> <p>学習課題 自分なりのまとめ 日本の近代化や発展を促すために、外国などの新しいものや文化をとりいれたり、新しい考えなどで、今につながるの国づくりを進めた。</p> <p>スプレッドシートに振り返りをする。</p> <p>様々な人が明治の国づくりを進めたことで今の日本があるとわかった。 6人は今の日本につながることをしたり、日本が発展するために工夫した。考え方、経済、政治などをみんなが進めた。 政治、経済、考え方など様々な人が日本のために色々なことをしたとわかった。教科書で学んだことだけでなく、色々な情報が得られて、良かった。</p>	電子黒板で振り返りを共有

鶴城中 園田 貢

【主な学習内容・学習活動】

模擬市長選挙を行い、政治への関心を高める。

民主政治の重要性に気づき、単元を通じた学習課題を設定する。

民主政治を実現する選挙の意義と仕組みを理解する。

日本の選挙制度の特徴を考え、小選挙区制と比例代表制が同時に行われる意義を理解する。【本時】

政党やマスメディア、世論の役割を理解する。

選挙の課題を資料から読み取り、選挙の課題に対しての解決策を考える。

単元を通じた課題について話し合い、これからどのように政治に関わるかを考える。

章末問題（単元テスト）

単元のゴールの姿

◆民主政治の意義を理解し、積極的に政治参加しようとする生徒

学ぶ意味を問う、学ぶ目的を持たせる問い

どのような人を市長に選ぶとよいのだろう。

なぜ民主政治は大切なのだろう。

知識・技能をつなぐ問い

選挙はどのような方法で行われているのだろう。

民主政治において政党が果たす役割とはどのようなものだろう。

マスメディアの役割とマスメディアが政治に与える影響とはどのようなものだろう。

日本の選挙にはどのような課題があるのだろう。

見方・考え方を発揮させる問い

なぜ日本では選挙区制度と比例代表制を取り入れているのだろう。【本時】

学んだ意義を問う、単元の最後に聞きたい問い

これからどのように政治に関わっていきたいですか。

定着確認（総括的評価：知識・技能）

【目標】

民主政治の意義を理解し、自分と政治についての関わり方を考え、積極的に政治に参加しようとすることができる

過程	教師のコーディネート・子供の姿	既習内容の復習
導入	<p>○日本の選挙制度について振り返ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選挙区制（小選挙区、中大選挙区制） ・比例代表制 <p>めあて 『日本では選挙区制と比例代表制を取り入れているのか』～理由をそれぞれの長所と短所から探ってみよう～</p>	
展開	<p>○資料をもとに選挙区制と比例代表制の長所と短所を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選挙区制の長所と短所を調べる班 (長所を調べる班：2班、短所を調べる班：2班) ・比例代表制の長所と短所を調べる班 (長所を調べる班：2班、短所を調べる班：2班) 	
	<p>○各班が調べた長所と短所の内容を発表し、全体で2つの制度の特徴について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの制度の長所、短所の詳細の理解 (例) 選挙区制（比例代表制）の長所が比例代表制（選挙区制）の短所になっている <p>○小選挙区制と比例代表制を採用している理由を考える</p> <p>（例）選挙区制と比例代表制の2つの制度を取り入れることでそれぞれの長所で短所を補いながら、多様な国民の意見を的確に政治に反映させ、より良い民主政治を行うため。</p>	
終末	<p>○本時で学んだことを記入する。</p>	

算数・数学

- 小学 5年「整数の性質を調べよう」
(不知火小 坂田教諭)
- 中学 2年「一次関数」
(住吉中 竹宮教諭)
- 中学 2年「一次関数」
(松橋中 仲原教諭)

小学5年算数「整数の性質を調べよう」 単元・授業デザイン

不知火小 坂田 一郎

【主な学習内容・学習活動】

- ・ 偶数、奇数の類別と意味
- ・ 立式から見る偶数、奇数
- ・ 倍数、公倍数、最小公倍数の意味
- ・ 公倍数の求め方
- ・ 約数、公約数、最大公約数の意味
- ・ 公約数の求め方
- ・ 振り返りプリント（復習）
- ・ 倍数、約数の利用
- たしかめよう・算数の目
- 単元を通した学習課題
- 【振り返り】
 - ・ できるようになったこと
 - ・ これからやってみたい、知りたいこと
 - ・ 考えが出せたか
 - ・ どんな場面で生かせるか

学ぶ意味を問う、学ぶ目的を持たせる問い
 運動会に向けたグループ分け、並び方、動きのパターンを考えよう。

知識・技能をつなぐ問い

どうすれば最小公倍数、最大公約数を簡単に見つけることができるだろう。（方略化）

この問題は、倍数と約数のどちらを使えば解決できるだろうか。（概念化）

定着確認

（総括的評価：知識・技能）

見方・考え方を発揮させる問い

10月の運動会に向けて、人数に応じてグループの分け方、並び方、動きについてこれまでの学習を生かして考えましょう。

①一列に並んだ状態で2人技をするとき、○番目の人の動きはどうか。

②5年男子だけで余りがないように考えると、何人技をすることができるか。

③同じように考えると、5年女子ではどうか。

④男子と女子で共通してできるのは何人技か。

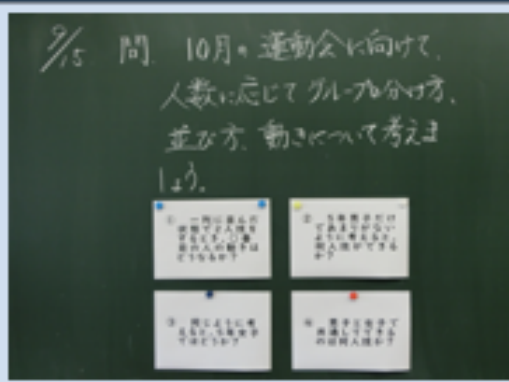


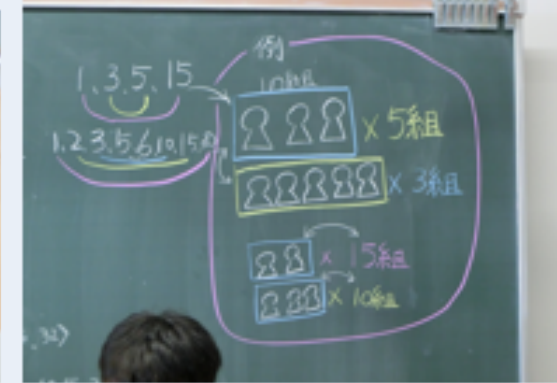
学んだ意義を問う、単元の最後に聞きたい問い
 他にどのような場面でこの学習が生かせそうか？

単元のゴールの姿

偶数、奇数、倍数、約数について知り、観点を決めて整数を類別したり図や式を用いて数の構成について考えたりした過程を振り返りながら、学習したことを今後の生活や学習に生かそうとする姿。

【目標】

運動会の並び方や動き、グループの分け方を考える活動を通して、偶数、奇数、公倍数、公約数の考え方を使得って問題を解決し、今後の生活に活用しようとしている。

過程	教師のコーディネート・子供の姿	
導入	 <p>問題 10月の運動会に向けて、人数に応じてグループ分け、並び方、動きについて考えよう。</p>	
展開	<p>課題① 類似する既習内容は？</p> 	<p>課題② 図や式を使った考え方は？</p> 
	<p>児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交互になるから偶数、奇数に関係がありそう。 ・ 5年男子は32人だから、それを割ることができる数(約数)を見つけよう。 ・ どちらも割り切れる数(公約数)じゃないかな？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例えば奇数の人がこの動きだとすると、偶数の人はこの動きになって... ・ 〇人技を作れば〇組できて、〇人技を作れば〇組できるよ。 ・ 30(人)と32(人)の公約数を考えると、1人技か2人技しかできないね。
終末	<p>これまでの学習を、どのような場面で生かすことができるだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集会の並び方や集団宿泊教室の班分けを考えると役に立つ。(偶数、奇数、約数など) ・ 買い物の場面で、1まとまりの数が違うものどうし、それぞれ何セット買えば数がそろえるかを考えるときに生かせる。(公倍数、最小公倍数など) ・ 班の人数と班の数の組み合わせを考えると生かせる。(約数、公約数など) 	

中学2年数学「一次関数」 単元・授業デザイン

住吉中 竹宮 邦彦

【主な学習内容・学習活動】

・一次関数とは？

・一次関数の値の変化
・変化の割合

・一次関数のグラフ
・傾きと切片

・一次関数の式を求める
(振り返り①)

小テスト① (評価)

・一次関数と方程式
・方程式とグラフ

・連立方程式とグラフ

・一次関数の利用
・一次関数とみなす
・グラフの利用
・動く点と面積の変化

小テスト② (評価)

見方・考え方を発揮させる学習課題(評価)

身の回りにある事象の中から、2つの数量の関係を、グラフや式、表などを使って調べている。調べた内容をもとに、一次関数の関係をみなし、未知の値を予測できる。

学ぶ意味を問う、学ぶ目的を持たせる問い

比例に似た2つの数量関係から、必要な値を求めることはできないだろうか？

知識・技能をつなぐ問い

一次関数と判断するためにはどうすれば良いか？
一次関数の表やグラフ、式にはどのような特徴があるか。

学習評価① (知識・技能)

ともに x と y の2つの文字を含む、一次関数と二元一次方程式はどのような関係があるか。

学習評価② (知識・技能)

身の回りの事象から、一次関数を見つけ出し、必要な値を求めることはできないか？

食品を冷たいまま保つバッグ(保冷バッグ)があります。この中によく冷えたペットボトル飲料を入れたとき、時間がたつにつれてペットボトル飲料の温度が、どのように変化するかについて書かれた説明書に、下のような実験結果が示されていました。この実験結果をもとにして、ペットボトル飲料の温度が20℃になるのは何分後かを予想してみましょう。

時間(分)	30	50	70	90	110
温度(℃)	8.8	10.0	11.1	12.3	13.6

見方・考え方を発揮させる学習課題
学習評価③ (見方・考え方・学ぶ意欲)

学んだ意義を問う、単元の最後に聞きたい問い

身の回りにある様々な事象について、一次関数の関係を見だし、未知の値を予測するためには、どのようなことをすればよいだろうか。

単元のゴールの姿

- 日常の事象や社会の事象及び数学の事象を、関数関係として捉え、目的に応じて表、式、グラフを適切に選択し的確に表そうとする姿。
- 日常の事象を理想化したり単純化したりすることで一次関数とみなし、問題を解決しようとする姿。
- 一次関数として考えることで、未知の値を求めることができる良さに気づき、問題解決に生かし、変化の様子を調べたり、予測したりしている姿。

【目標】

身の回りにある数量について、一次関数を見だし、必要な値を導き出すことができる。

過程	教師のコーディネート・子供の姿	課題把握を効果的に進めるICTの活用												
導入	<p>問題を提示する</p> <p>食品を冷たいまま保つバッグ(保冷バッグ)があります。この中によく冷えたペットボトル飲料を入れたとき、時間がたつにつれてペットボトル飲料の温度が、どのように変化するかについて書かれた説明書に、下のような実験結果が示されていました。この実験結果をもとにして、ペットボトル飲料の温度が20℃になるのは何分後かを予想してみましょう。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間(分)</th> <th>30</th> <th>50</th> <th>70</th> <th>90</th> <th>110</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度(℃)</td> <td>8.8</td> <td>10.0</td> <td>11.1</td> <td>12.3</td> <td>13.6</td> </tr> </tbody> </table>	時間(分)	30	50	70	90	110	温度(℃)	8.8	10.0	11.1	12.3	13.6	
時間(分)	30	50	70	90	110									
温度(℃)	8.8	10.0	11.1	12.3	13.6									
展開	<p>【課題1】時間と温度はどのような関係か？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 温度の増え方がばらばら。 ・ 平均するとだいたい120分で1.2℃ずつ上昇している。 ・ グラフに点をとってみると、おおよそ直線に並んでいる。→一次関数と考えられそうだ。 <p>※現実の世界では、誤差が生じることを踏まえておくことをおさえ、直線に並んでいる様子から、一次関数をイメージさせることができた。</p> <p>【課題2】ペットボトルの温度が20℃になるのは何分後？</p> <p>グラフを活用し、おおよその時間を求めようとしている。</p> <p>表を増やして、20℃になる時間を求めようとしている。</p> <p>日常の事象や社会の事象及び数学の事象を、関数関係として捉え、どのような関係が見つかるためにはどうすればよいだろうか</p>	生徒の考えを表現したり、共有したりするためのICTの活用												
終末	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身の回りにある、ともなって変わる2つの数量に注目し、どのような関係になっているかを見つける。 ・ 増え方に注目したり、グラフを書いたりして、一次関数の関係とみなす。 ・ 関係から式やグラフ、表などを活用し、未知の値を求めることができる。 <p>※終末に、単元のレポート課題を提出させ、評価資料とする。</p> <p>【レポート課題】</p>													

中学2年数学「3章 一次関数」単元デザイン

【主な学習内容・学習活動】

○関数とは何か(3時間)
 ・「関数」と捉えることで、表・式・グラフに表して分析しやすくなるよさに気付く。
 ・比例・反比例の特徴に当てはまらない「関数」があることに気付く。
 ・「一次関数」の特徴を理解し、式の形により、関数の種類を見分けることができる。
 ・変化の割合について学び、反比例は一定ではないことに気付く。

○一次関数のグラフをかくこと(4時間)
 ・表をもとにかける。・傾き・切片を理解する。
 ・簡単な書き方について考え、見いだす。
 ・xの変域に対して、yの変域を求める。

○一次関数の式を求めること(3時間)
 ・グラフがあるとき
 ・傾きと1点の座標が分かるとき。
 ・2点の座標が分かるとき。

学びの足跡シート①

○二元一次方程式を関数と捉えること(3時間)
 ・二元一次方程式を関数を表す式と捉え、グラフに表す。
 ・2本のグラフの交点の意味を理解する。

学びの足跡シート②

○一次方程式の利用(4時間)
 ☆ダム貯水量の問題
 ・情報を表に整理し、関数と捉え解決する。
 ☆けいたさんの買い物に関する問題
 ☆動点の問題
 ☆けいたさんとかりんさんの問題
 ・グラフから情報を読み取り、問題を解決する。

学びの足跡シート③

単元テスト(積み上げ)

学びの足跡シート完成
 ・「関数」のよさ・単元の振り返り

宇城市立松橋中学校 教諭 仲原 徹治
 学ぶ意味を問う、学ぶ目的を持たせる問い

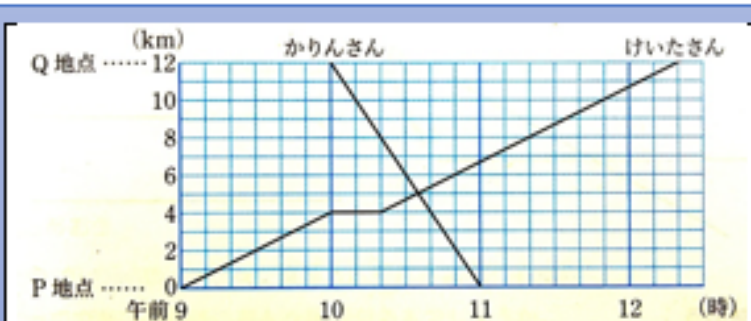
身のまわりに「関数」と捉えることができる事象はどんなものがあるだろうか?
 ☆身の回りには関数が溢れていることを感じさせ、それを分析するために本単元を学習する目的を確認する。
 ☆昨年度学習した「比例・反比例」の特徴に当てはまらない関数があることに気付く、それについて詳しく学習していくことを確認する。

知識・技能をつなぐ問い

一次関数は、どんなグラフになるだろうか?
 ☆比例・反比例のグラフと比較し、共通点や相違点に気付く、簡単な書き方について考える。

2つの二元一次方程式のグラフの交点座標には、どんな意味があるのだろうか?
 ☆二元一次方程式をグラフに表せることを知り、2直線の交点座標と連立方程式の解が一致することに気付く。

見方・考え方を発揮させる問い



- ① けいたさんは何分間同じ場所にいたか?
- ② けいたさんの歩く速さは分速何kmか?
- ③ 二人が出会ったのは何時何分か?
- ④ 二人が出会ったのはQから何km地点か?

学んだ意義を問う、単元の最後に聞きたい問い
 具体的な事象を「関数」として捉えることのよさとは何だろうか?

単元のゴールの姿

- ◆ 具体的な事象の変化のようすに着目し、それを「関数」と捉え、問題を解決しようとする姿。
- ◆ 具体的な事象を「関数」と捉えることで、表、式、グラフを適切に使い表現し、他者に伝えようとする姿。
- ◆ 昨年度学習した「比例・反比例」と比較し、それらとの違いや共通点を理解している姿。
- ◆ 具体的な事象を「関数」として捉えることのよさについて自分なりの考えを述べる姿。

【目標】(13/18時間)

2つの二元一次方程式のグラフをかき、その2直線の交点座標と連立方程式の解が一致することに気付くことができる。【知識・技能】

過程	教師のコーディネート・子供の姿
導入	<p>○かめ課題に取り組み、基礎・基本の定着を図る。 ○前時の内容を思い出し、グラフをかく。</p> <p>【復習】次の二元一次方程式のグラフをかきなさい。 ① $x+y=7$ ② $2x+y=10$</p> <p>☆2元一次方程式のグラフは、yについて解くことで、かくことができましたね。</p> <p>【課題】2つの二元一次方程式の交点座標にはどんな意味があるだろうか? ① $x+y=7$ ② $2x+y=10$ の交点座標は (3,4) である。</p> <p>【めあて】 2直線の交点座標にはどんな意味があるの?</p>
展開	<p>○課題について考える。(グループで話し合う)</p> <p>連立方程式の解と同じになっているんじゃないかな?</p> <p>○気付いたことをつかって、実際に問題を解決する。</p> <p>【問1】次の連立方程式を、グラフをつかって解きなさい。 $\begin{cases} x+2y=2 \cdots \text{①} \\ 2x+y=-2 \cdots \text{②} \end{cases}$</p> <p>2つの二元一次方程式のグラフをかいてみて交点を読み取るとよいか?</p> <p>【まとめ①】 2つの二元一次方程式のグラフの交点は、連立方程式の解と一致する。また、連立方程式の解は、グラフをかいて交点を読み取ると求められる。</p>
終末	<p>○応用問題に取り組む。</p> <p>【例題1】 右の図で、2直線 l, m の交点Pの座標を求めなさい。</p> <p>交点を読み取れないなあ・・・連立方程式で解けばいいのかな? 2直線の式が分かればよいか?</p> <p>☆2直線を読み取るところまで全体で確認し、連立方程式の解(分数)は教師が提示する。</p> <p>【まとめ②】 グラフの交点を読み取れないときは、連立方程式をつかって解けばよい!</p> <p>○学びの足跡シートを記入する。(時間があれば生徒同士で共有)</p>

理科・生活

総合的な学習の時間

- 小学 6年「平和学習」
(宇土小 湊瀬教諭)
- 小学 4年「わたしたちの体と運動」
(豊野小 吉田教諭)
- 中学 2年「電流と回路」
(鶴城中 小篠教諭)

小学6年総合的な学習の時間「平和学習」 単元・授業デザイン

【単元の目標】

宇土小 瀧瀬 貴治

平和について調べたり、考えたりする探究的な活動を通して、過去の出来事と人々の生き方を知り、平和であり続けるために自分たちにできることを発信するとともに、学んだことをこれからの生き方に生かそうとする態度を育てる。

【主な学習内容・学習活動】

○**問いの発見** ○**単元のゴールの設定** ※イメージの共有

○**単元計画の構想**
○**課題の設定**

○**情報の収集**
(戦争への歩み、当時の暮らし、子供たちの様子、被害状況など)

○**整理・分析**
(新聞・プレゼンなど)

○**まとめ・表現**
(グループ間で中間発表)

○**振り返り** ○**新たな問い**
○**課題の設定**

○**情報の収集**
①戦争体験者講話から学ぶ
②教材『平和ナガサキ』で学ぶ
③現地で学ぶ(長崎修学旅行)

○**整理・分析** (リーフレット、プレゼン、壁新聞など)

○**まとめ・表現**
(下級生や保護者に発信)

振り返りシートの活用
※自分の姿や平和であり続けるために自分ができることを具体的に記述する。

学ぶ意味を問う、学ぶ目的を持たせる問い

平和と聞いて、どんな言葉が浮かびますか。
戦争と聞いて、どんな言葉が浮かびますか。

児童の実態：戦争は遠い過去の話、自分事ではない

知識・技能をつなぐ問い (概念化)

日本はなぜ、戦争への道を進むことになったのだろうか。

戦争中で、人々はどんな暮らしをしていたのだろうか。

調べ学習後に、学んだことを交流する活動を通して、知的概念を形成したり、新たな課題(問い)を発見したりする。

見方・考え方を発揮させる問い

長崎県や宇土市では、戦争によってどのような影響や被害があったのだろうか。

戦争を経験した人々は、どのような願いや思いをもっているのだろうか。

修学旅行で学んだことをまとめ、表現する活動を通して、自分と平和とのかかわり方を見つめ直す。

学んだ意義を問う、単元の最後に聞きたい問い

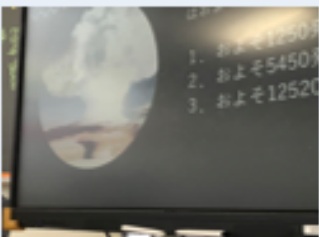

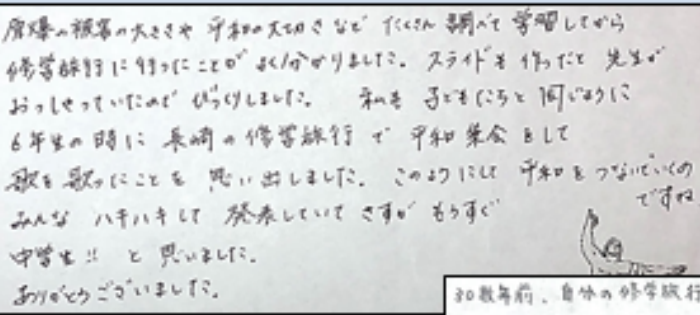
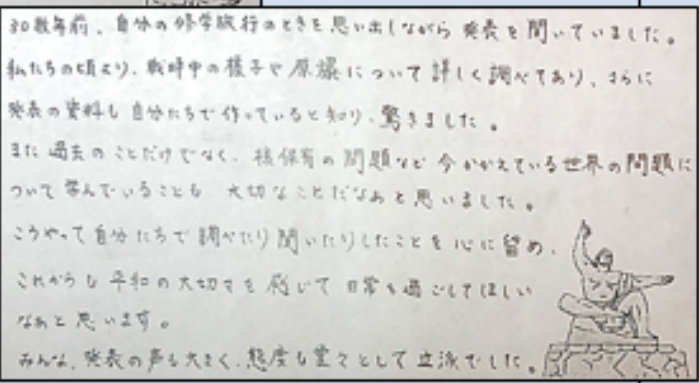
あなたにとって戦争とは、平和とは何ですか。

単元のゴールの姿

- ◆ 戦争や平和について調べたり、考えたことを発信したりする活動を通して、戦争の悲惨さや平和の大切さに気付いている。
- ◆ 現在世界で起きている戦争や身の回りの争いごとを、自分事として捉えている。
- ◆ 平和であり続けるために自分たちに何が出来るかを考え、取り組もうとしている。

【目標】

平和について調べたことや考えたこと、平和のために自分ができることを、相手や目的を意識しながら、わかりやすくまとめて発信している。

過程	教師のコーディネート・子供の姿	
導入	<p>めあて：平和について考えたことを、保護者の方に発信しよう</p> <p>○めあてを確認する</p> <p>○平和の誓い(構成詩)を発表する</p> <p>○平和の歌「折り鶴」を合唱する</p>	ICTを効果的に活用する
展開	<p>○班ごとに発表する。(7分×4班)</p> <p>各班の発表テーマ</p> <p>1班 原爆の被害と戦時下の子どもたちの様子について</p> <p>2班 語り部の山川剛さんから学んだことについて</p> <p>3班 永井隆博士の生き方から学んだことについて</p> <p>4班 核世界とこれから平和のためにできることについて</p> <p>① プレゼンテーション </p> <p>② 壁新聞 </p>	
終末	<p>○保護者より感想をいただく</p> <p></p> <p>○振り返りをする</p> <p>・緊張したけど、家族に平和への思いを伝えられてよかった。</p> <p>・今日の反省を生かして、次の5年生にはもっと上手に伝えたい。</p> <p></p>	

小学4学年「わたしたちの体と運動」 単元・授業デザイン

豊野小 吉田沙也加

【主な学習内容・学習活動】

レディネス(診断的評価)

植物、動物(昆虫)、ヒトの体のつくりについて今までの知識を整理する。

ヒトの腕の骨は、どのようなつくりになっていて、どのように動くか調べる。

ヒトの腕の筋肉は、どのようなつくりになっていて、どのように動くか調べる。

ヒトの体全体の筋肉と骨は、どのようなつくりやしきみになっているのか調べる。

定着確認テスト(形成的評価)

身近な動物の筋肉と骨のつくりやしきみを、動物園の方に話を聞く。

パフォーマンス課題(総括的評価)

わたしのおすすめ
“筋肉と骨”カードの作成
※自分がどうしてその動物を選んだのか、筋肉と骨のつくりやしきみに着目した文や絵、写真でまとめる。

ヒトや動物にある筋肉と骨の役割(しきみ)をしているものが、他の生き物や植物や昆虫にあるのかを考えたり調べたりする。

章末問題(形成的評価)

単元テスト(総括的評価)

単元のゴールの姿

- ◆ 筋肉と骨のつくりやしきみに着目して、それらに関係づけてヒトが体を動かすしきみを調べる姿。
- ◆ ヒトや他の動物の筋肉や骨のつくりやしきみについて、根拠ある予想や仮説を発想し、表現する姿
- ◆ “植物・動物・ヒト”の体のしきみに着目し、生命の共通性・多様性に気づき、人間と同じように生命あるものとして生物を見る姿

本単元で働かせる見方・考え方

ヒトの骨や筋肉のつくりやしきみに着目して、“植物・動物・ヒト”の体のつくりを比較しながら共通性や多様性について考えること。

学ぶ意味を問う、学ぶ目的を持たせる問い

みんなは、生物の共通するところの1つに“動く”ことを言っていたね。この動くために必要な体の部分(つくり)について、ヒトを中心に詳しく調べていきましょう。

知識・技能をつなぐ問い

ヒトの腕の骨や筋肉は、どのようなつくりになっていて、どのように動くのだろうか？

ヒトの体全体の骨や筋肉は、どのようなつくりになっていて、どのように動くのだろうか？

概念
知-知

定着確認

(総括的評価：知識・技能)

見方・考え方を発揮させる問い

動物(他の生物)の骨や筋肉は、どのようなつくりになっていて、どのように動くのだろうか？



学んだ意義を問う、単元の最後に聞きたい問い

生物の体のしきみの似ているところと似ていないところはどこだろうか？

【目標】

ヒトや他の動物についての骨や筋肉のつくりやしきみを調べる活動に進んで取り組み、他者と関わりながら問題解決しようとする。

過程	教師のコーディネート・子供の姿	PCや図書資料で調べ学習
導入	<p>【学習課題】(オンライン授業1回目) 自分がもし、動物の一部の筋肉と骨を手に入れたら、何の動物のどこの骨がいいですか？</p> <p>例えば、ツキノワグマのあしは、安定して立つことができるために、かかとまでしっかりと地面につくしきみになっていますよ！</p>	
展開	<p>【活動①】 図書資料やインターネットを用いて、動物のどの部分の筋肉と骨がいいか、根拠を述べながら自分の考えをまとめる。</p> <p>ライオンの脚の骨や筋肉はつま先立ちをしている状態で、すばやく獲物を追いかけるしきみになっているから、ライオンの後ろ脚の骨や筋肉がほしい。</p> <p>キリンの後ろ脚は、かかとから下が長くて細く、それにくらべて太もものあたりはとても太くなっていて、速く走れるしきみになっているから、キリンの脚の骨や筋肉がほしい。</p> <p>【活動②】 グループごとに発表を行い、グループで1つカードを選び、練り上げる。</p> <p>【活動③】(オンライン授業2回目) 練り上げたカードを全体交流し、動物園の方にコメントをもらう。</p>	
終末	<p>【まとめ】動物にも、ヒトと同じように骨や筋肉があって、同じ体を動かすためのしきみをしているが、目的によって形や大きさが異なる。</p> <p>生活する環境に合わせて、骨や筋肉の形や大きさが変わってきているんだね！</p>	

PCや図書資料で調べ学習

PCのレポート記録

動物園との遠隔授業

PCでふり返り記入

中学2年理科「電流と回路」 単元・授業デザイン

鶴城中 小篠 怜央

【主な学習内容・学習活動】

・単元の導入(1時間)
 ・単元の問いを設定する。
 ・扇風機のモデル回路をもとに予想を行う。
 「扇風機を流れる電気の量(大きさ)が変わるから」
 ・単元の見通しをつける。

1 電流(3時間)
 ・電流計を使って電流を測定する。
 ・回路図を読み取って回路をつくる。
 ・モーターに流れ込む電流と流れ出る電流の大きさの関係を調べる。
 ・直列回路・並列回路における電流の大きさの関係性を調べる。

問いの振り返り(評価)

2 電圧(3時間)
 ・電圧計を使って電圧を測定する。
 ・モーターに加わる電圧と電源に加わる電圧の大きさの関係を調べる。
 ・直列回路・並列回路における電圧の大きさの関係性を調べる。

問いの振り返り(評価)

3 抵抗(4時間)
 ・電圧と電流の関係性を調べる。
 ・電流・電圧・抵抗の大きさを計算によって求める。
 ・直列回路・並列回路における合成抵抗の大きさの関係性を調べる。

問いの振り返り(評価)

問い直し(1時間)
 扇風機の風の強さが変わる理由を、これまでの学習を活用して課題解決を行う。

概念
知—知

単元のゴールの姿

- ◆ 扇風機のボタンを押すことで、抵抗の大きさが変化し、電流が大きくなることを、実験によって確かめ、表現する姿
- ◆ 電流・電圧・抵抗の関係や、直列・並列回路における電流・電圧・抵抗の大きさの関係を課題解決に活用しようとする姿

生徒の実態

電気に関する用語は耳にしている(「電流」「電力」など)が、意味を正しく理解はしていない。約6割の生徒は、乾電池2個のつなぎ方を変えることで豆電球の明るさや光る時間が変わることを理解している。

学ぶ意味を問う、学ぶ目的を持たせる問い

扇風機のボタンを押すと風の強さが変わるのはなぜだろうか。

単元課題を解決するための3つの問い

- 1 流れる電気の量(大きさ)はどのように表されるだろうか。
- 2 電気を流す力はどのように表されるだろうか。
- 3 電気の流れにくさはどのように表されるだろうか。

知識・技能をつなぐ問い

- 1 電流の大きさはどのように測定するだろうか。
- 2 電圧の大きさはどのように測定するだろうか。
- 3 電流と電圧の大きさには、どのような関係があるだろうか。

見方・考え方を発揮させる問い

- 1 直列回路と並列回路では、流れる電流の大きさに違いがあるのだろうか。
- 2 乾電池の数によって、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わるのはなぜだろうか。
直列回路と並列回路では、各部分に加わる電圧にどのような違いがあるのだろうか。
- 3 抵抗を2個つないだ回路では、全体の抵抗の大きさはどのようになるだろうか。

学んだ意義を問う、単元の最後に聞きたい問い

扇風機のボタンを押すと風の強さが変わるのはなぜだろうか。

【目標】

扇風機のボタンで風の強さが変わる理由を、電流・電圧・抵抗の大きさに着目しながら説明することができる。

過程	教師のコーディネート・子供の姿	
導入	<p>【復習】5分</p> <ul style="list-style-type: none"> ○モデル扇風機のボタンで風の強さが変わっていることを確かめる。 ○本時の課題を確認する。 扇風機のボタンを押すと風の強さが変わるのはなぜだろうか。 	前時
展開	<p>【予想】5分</p> <ul style="list-style-type: none"> ○風の強さが変わる理由を考える。 「抵抗の大きさが変わるから、風の強さが変わります。」 <p>【実験計画立案】10分</p> <ul style="list-style-type: none"> ○予想を確かめる為の実験方法を計画する。 →班毎にホワイトボードにまとめ、黒板に掲示する。 ※同じ方法の班同士でグルーピングする。 <p>【実験・考察】30分</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実験を行い、結果を記録する。 →パワーポイントまたはプリントにまとめる。 ○結果をもとに、扇風機の風の強さと抵抗の大きさの関係を見いだす。 	
	<p>【再実験・発表準備】12分</p> <ul style="list-style-type: none"> ○前時をもとに、再実験や発表の準備を行う。 <p>【発表】18分</p> <ul style="list-style-type: none"> ○班毎に発表を行う。 「抵抗の数を多くすると、風は弱くなりました。」 「抵抗の長さを長くすると、風は弱くなりました。」 	本時
終末	<p>【まとめ】15分</p> <ul style="list-style-type: none"> ○扇風機のボタンを押すと風の強さが変わる理由を「電流・電圧・抵抗」という言葉を用いてまとめる。 「電圧が一定の時、回路全体の抵抗が小さくなると、電流が大きくなり、風は強くなる。」 ○モデル扇風機の回路を公開する。 <p>【振り返り】5分</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えの変化を振り返り、単元を終えた感想を書く。 	

外国語・英語

- 小学 5年「Who is your hero?」
(当尾小・豊福小 馬場教諭)
- 中学 1年「The Way to School」
(松橋中 大野教諭)

小学5年外国語「Unit8 Who is your hero?」 単元・授業デザイン

当尾小・豊福小 馬場 郁子

【目標】(4/8 時間)
自分のヒーローの得意なことを伝えることができる。

【主な学習内容・学習活動】

・ヒーローについてイメージを広げる
・単元のゴールを知る

・自分のヒーローが誰かを紹介する
My hero is ~. He/ She is ~.

・ヒーローの特徴を紹介する
He is gentle.

・ヒーローの得意なことを紹介する
He/ She is good at ~.

・紹介の練習
・さらに詳しくするための付け加えをする
紹介の練習動画を撮影し、定着確認

・スピーチ大会リハーサル

ヒーロー紹介スピーチ大会

・ヒーローを紹介するスピーチ
・振り返りシートへの記入
・ペーパーテスト

学ぶ目的を持たせる学習課題

クラスの友達とお互いのことをもっとよく知り合うために、「My Heroスピーチ大会」をしよう。

知識・技能をつなぐ問い (概念化)

あなたのHeroはHeかな?Sheかな?

知識・技能をつなぐ問い (概念化)

He is good at ~.はどんなことを伝える文かな? canとどう違うのかな?

見方・考え方を発揮させる学習課題

あなたのヒーローについて友達に知ってもらうために付け加えたいことはありませんか。より伝わりやすいスピーチにするにはどのような工夫ができますか。

定着確認



(知識・技能を主に評価)

学んだ意義を問う、単元の最後に聞きたい問い

今回学習した表現を使って、誰のどんなことを紹介してみたいですか。

単元のゴールの姿

- ◆ He/ She is ~. He/ She is good at ~.などの文を使って憧れの人の人柄や得意なことなどについて伝えている姿
- ◆ 自分のあこがれの人について既習表現を活用し、相手に伝わりようように紹介しようとしている姿

過程	教師のコーディネート・子供の姿	
導入	① 前時までの復習  My hero is ~. He/ She is a ~. He/ She is kind.	キャラクタークイズ
	② キャラクタークイズに挑戦し、本時に学習するbe good at ~.のおおまかな意味を理解する。 野球が得意ってことは...	
展開	③ 教師のデモンストレーションや友達の話聞きながら、本時の課題を理解する。 自分のヒーローの得意なことを伝えよう スピーチ大会に向けて今日はどんなことを付け加えますか?	教師のモデルの提示
	④ 自分のヒーローの得意なことを伝える。 グループ練習 中間評価① 分からない表現はないですか? 〇〇が得意って何て言えばいいかな? She is good at swimming. がいいかな? 全体で伝え合い(個人) 中間評価② 言い方が分からない、教えて欲しいことはないですか? ~に気を付けて話してみよう。 Hello. My hero is ~. He/ She is good at ~.	
	グループで確認	
	⑤ 本時で話したことをタブレットで録画する。 ・自分のスピーチを客観的に聞くため。 ・次時に見返し復習するため。	
終末	⑥ 振り返りをする。  ・サッカーのシュートが得意なことを伝えることができました。 ・得意なことの伝え方が少し難しかったので、もっと練習したいです。 今日はどんなことが言えるようになりましたか? 次時から、スピーチ練習に入ります。次時はどんなことをがんばりたいですか?	タブレットでの録画

中学1年英語「Program 6 The Way to School」 単元・授業デザイン

松橋中 大野 早紀

【主な学習内容・学習活動】

・単元のゴールを確認しながら、自分のゴールをイメージする

・新出言語材料の活用練習

・登場人物SueとPaulになりきって積極的に対話文を練習する
 ・対話文を聞いて、重要な内容を聞き取る
 ・ジェスチャーリーディングを通して本文の内容を理解する

・Retell
 ・本文の内容を活用して、人物紹介の文を書く Writing

・中間指導のためのSmall Speaking Output with Pairs
 ・活動の振り返り

・単元のゴール (Speaking Output)
 ・活動の振り返り

・話した内容を整理するための Writing Output

・総括(単元テスト)

学ぶ目的を持たせる学習課題

ALTやクラスの友達に、自分の好きな人物の魅力が、しっかりと伝わるようにスピーチをしよう

知識・技能をつなぐ問い

人称代名詞him, her等はどんな時に使ったらよいだろうか？

Why?やBecause～.は、どのような使い方をすれば、事実や意見が相手に正しく伝わるようになるだろうか？

見方・考え方を発揮させる学習課題

あなたの好きな人物についてもっとよく知ってもらうための工夫ができないかな？
 ・Retellで使用した表現は使えないかな？
 ・I think～を使って、自分の考えを挿入することはできないかな？
 ・聞いている人はどんな気持ちで聞かだろうか？

学んだ意義を問う、単元の最後に聞きたい問い

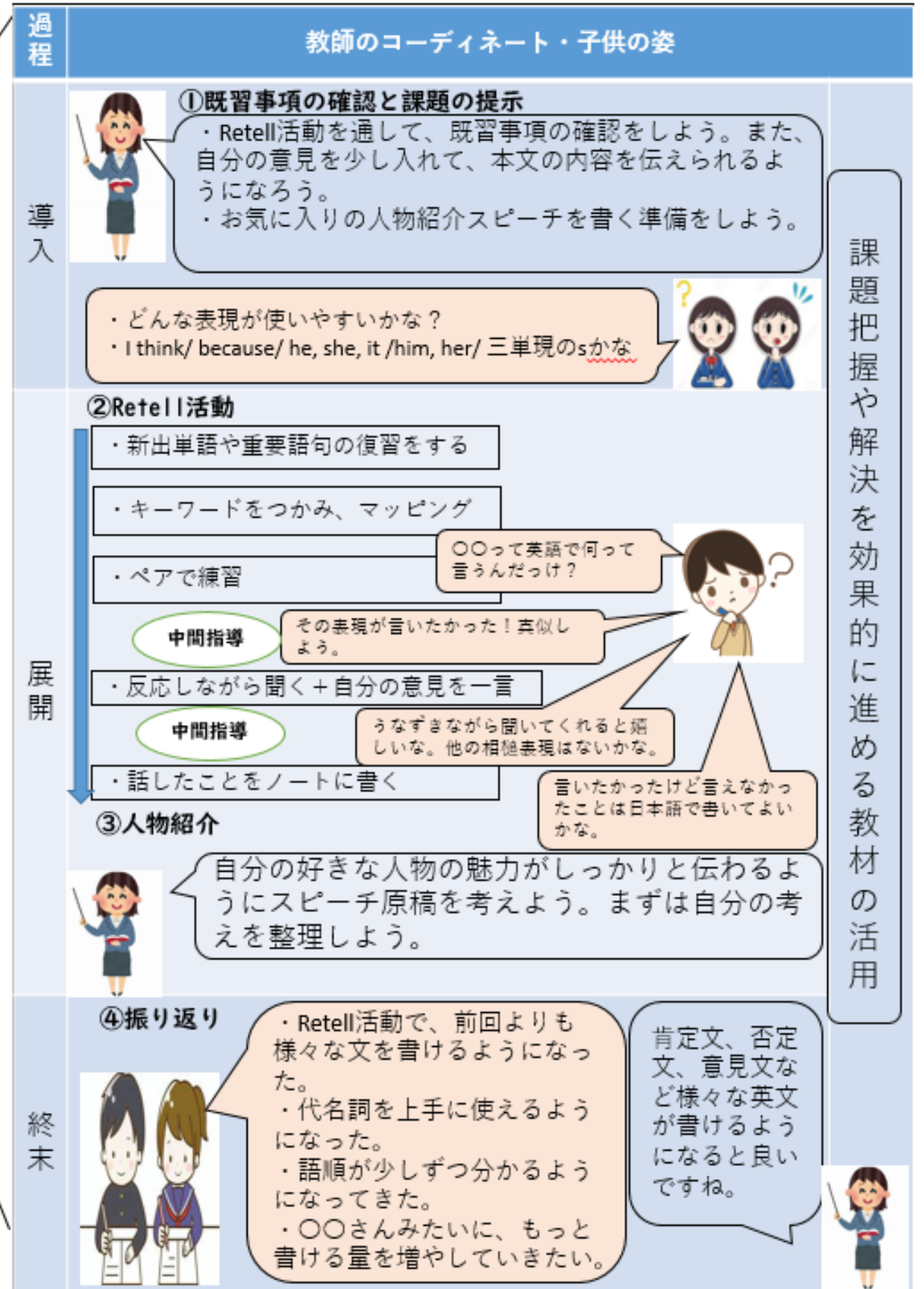
・スピーチで聞き手を引き付けるには、どんな工夫が必要だろうか？
 ・前回の単元のゴールから成長したことは何だろうか？

単元のゴールの姿

- ◆自分の好きな人物を、聞き手に興味を持ってもらえるように好きな理由を添えて発信している生徒
- ◆伝えたいことが相手に正しく伝わるように、スピーチの構成、間の取り方、代名詞の使い方、表情等を工夫している生徒
- ◆本文の内容を理解し、その内容について自分の考えを織り交ぜながらRetell活動に取り組んでいる生徒

【目標】 (5 / 9 時間扱い)

- ・Retell活動を通して、人物描写を正しくできるようになる。
- ・Retell活動で使った表現を生かしながら、自分の好きな人物の紹介文を書こうとしている。



令和5年度 宇城管内学力向上ワーキング・グループ

宇城市町教育委員会連絡議会

【国語】

宇土市立宇土小学校	井上 万里	教諭
美里町立励徳小学校	久保 綾	教諭
宇土市立鶴城中学校	前川 恵	教諭

【社会】

宇城市立松橋小学校	長松 堅志	教諭
美里町立砥用小学校	太田 優美	教諭
宇土市立鶴城中学校	園田 貢	教諭

【算数・数学】

宇城市立不知火小学校	坂田 一郎	教諭
宇土市立住吉中学校	竹宮 邦彦	教諭
宇城市立松橋中学校	仲原 徹治	教諭

【理科・生活・総合的な学習の時間】

宇土市立宇土小学校	淵瀬 貴治	教諭
宇城市立豊野小学校	吉田 沙也加	教諭
宇土市立鶴城中学校	小篠 怜央	教諭

【外国語・英語】

宇城市立当尾小学校・豊福小学校	馬場 郁子	教諭
宇城市立三角中学校	竹谷 愛	教諭
宇城市立松橋中学校	大野 早紀	教諭

会 長	村田 寛
宇土市教育長	太田 耕幸
宇城市教育長	平岡 和徳
美里町教育長	宮崎 幸仁
事務局	寺田 幸司
	(宇城市教育委員会指導主事)
	上田 美保

宇城教育事務所

所 長	木村 純一
指導課長	前川 和宏
指導主事	原武 聡子(国語)
指導主事	鋤崎 良二(社会)
指導主事	浅井 重光(算数・数学)
指導主事	三村 優子(理科・生活・ 総合的な学習の時間)
指導主事	中村 繁徳(外国語・英語)

宇城管内学力向上ワーキング・グループ
実践事例集
令和6年3月発行

発行者 宇城市町教育委員会連絡協議会
宇城教育事務所